

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

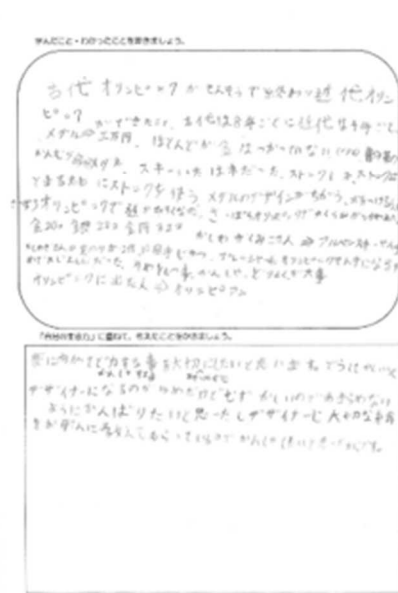
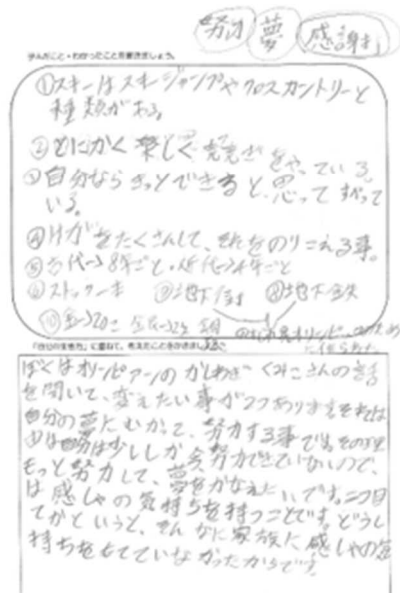
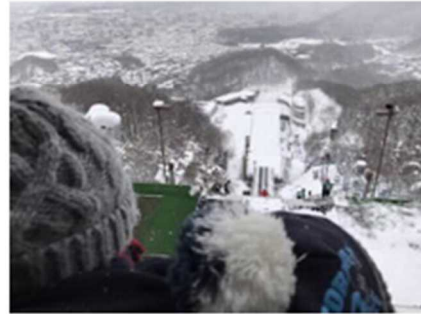
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、III、V】
2 実施対象者	札幌市立二条小学校学校 第3学年 76名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間、道徳 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 (ねらい)	児童がオリンピック・パラリンピックやスポーツの価値を学ぶことで将来に向かって成長し、生涯を通じて体を動かす意欲を高めるとともに障害のある人への理解を深める。
5 取組内容	校長講話、映像、学習教材を通してオリパラの価値について理解を深めるとともに、冬季オリンピックによる講話、札幌オリンピックミュージアムの施設利用、総合的な学習の時間における国際理解の学習、道徳の時間を通して「努力と強い意志」を学んだ。 ○指導計画 〔7時間扱い〕 「全校朝会・昼の放送・遠足」 ・映像などを通して、オリパラについて興味をもち、種目などについて学ぶ。 「総合的な学習の時間」6時間 ・学習教材を使って、オリパラの歴史や意義について学ぶ。 ・札幌オリンピックミュージアムを訪問し、展示品の見学や体験コーナーの利用、冬季オリンピックによる講話を聞く。 「道徳」1時間 ・オリンピックの柏木久美子さんの話から「強い意志」について話し合う。



6 主な成果

- ・札幌オリンピックミュージアムの施設の方から、オリンピック開催により札幌の街が変化していく様子を教えていただいた。札幌という街を新たな視点で捉え、愛着が生まれ、児童にとって札幌の好きな場所が増えた。
- ・札幌オリンピックミュージアムの施設を利用することで、体を動かす楽しさを肌で感じる事ができた。また、冬季オリパラの競技を体験することで、オリパラに興味をもった。
- ・冬季オリンピックの講話を通して、講師の生き方に触れ、強い意志をもって行動することで、貴重な経験をすることができることを知った。今の自分の生活をふり返ることで、これからの生き方に対する目標をもつことができた。
- ・大倉山ジャンプ競技場の見学では、実際に競技を行っている選手の様子を見ることができ、目標に向かって取り組むすがすがしさを感じることができた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	・本校では、5年生時に遠足で大倉山へ行き、札幌オリンピックミュージアムも利用する。3年生の学習を生かし、5年生においては、どのような学習ができるのか、計画を立てていく必要がある。 ・社会科の学習「つたえたいもののこしたいもの」と関連させて、オリンピックを学んでおくことも有効であると考え。取り組む時期と社会科の学習と合わせるなど、年間を通した学習の計画が必要である。時期としては、2学期中に取り組むことも可能である。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。